総合的な学習の時間指導案

1　単元名　「中学校を紹介しよう」

2　単元の目標

・中学校生活の紹介活動や小学校とのかかわりを通して，自分自身が成長したことに目を向ける。
・自分たちの生活を振り返り，小学校との違いを考える。
・友達と協力して行う活動の幅を広げる。
・相手にわかりやすく伝えるためにはどんなことに気を付けたらいいかを考え，実践する。

3　単元の評価規準

生徒	生徒の実態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

（個人情報に関わるため省略）

4　単元と指導の構想

本単元では，当校の学区である小学校に，中学校の生活や楽しさを紹介する活動を中心に設定した。自分たちの学校を紹介することで経験を振り返り，自身の成長を発見し，相手によりわかりやすく伝えるためにはどうしたらいいかを考える。

発表することについては，自立活動でも学習しており，内容が伝わりやすい声の大きさや話し方，態度について学んできた。これまでは学級内の発表は行えたが，新型コロナウィルスの感染対策などで交流活動に制限があったため，集団の前での発表した経験はない。また，交流クラスでは自信を持って発表できず，成功体験が少ない生徒が多い。今回は特別支援学級の小学生に向けての発表であるため，お互いに知っている児童や職員がいることで，普段と異なる環境での発表であるが，ある程度安心感を持って臨めると考える。

中学生になった自分が中学校に進学を控えた小学生に対して，どのような態度で臨めば良いかを理解し，場にふさわしい言動や態度を実践できるようにしたい。そのために，聞き手になったり発表者になったりと役割分担を交換することや，繰り返し発表の練習が行えるようにすることで，自信を持って臨めるような手立てをとる。

学校紹介の資料作りにはタブレットを用いることで，文字入力や写真の添付などの基礎操作を学習した。話し合って発表テーマを割り振り，個別にスライドを作製した。みんなのスライドをまとめてプレゼンテーション原稿とし，大きなモニターに映して全員で検討した。見やすくわかりやすいスライドになるように，全員で意見を出し合いながら修正を行った。

自立活動と関連させることで，普段の活動がどのような場面で生かされるかを生徒がイメージでき，心理的安定や人間関係の形成，コミュニケーションの能力の般化が期待できる。

5　単元の指導計画（全 10 時間　本時 8/10　）

次	時	学習のねらい(○)と主な活動（・）	評価			
			知	思	態	評価規準
1 次	1	○中学校について紹介する目的やこれからの活動を知り, 見通しをもつことができる。 ○中学校での生活を振り返り，小学校との違いを考える。 ・中学校を紹介する目的やこれからの予定を聞く。 ・入学時のことを思い出し,中学校と小学校との違いや知っていた方がいいことを挙げる。	○ ○	 ○	 ○	・中学校について紹介する目的を知ることができる。 ・中学校と小学校の違いを考えることができる。
2 次	1 2 3 4 5 6	○分かりやすさを意識して Keynote でプレゼンテーションを作ることができる。 ○友達と協力してプレゼンテーションを作ることができる。 ・学校の画像や動画を撮影する。 ・プレゼンテーションを作成する。 ・できたプレゼンテーションを検討して修正する。	○	○ ○	○ ○	・文字の大きさやレイアウトを考えてプレゼンテーションを作ることができる。 ・友達と協力して活動することができる。
3 次	7 8 9 10	○発表するときの声の大きさや態度, 言葉遣いなどを考えることができる。 ○適切な態度と言葉遣いで発表することができる。 ○活動を振り返り，評価することができる。 ・発表するときに気を付けることを挙げる。 ・発表の練習をする。 ・発表の評価をする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	・発表のときの声の大きさや態度，言葉遣いなどについて考えることができる。 ・適切な態度と言葉で発表することができる。 ・友達や自分の発表について評価し，活動を振り返ることができる。

6　本時の計画（全 10 時間　本時 8/10）

(1)本時のねらい

・発表のリハーサルを行い，声の大きさや話す速さなど，改善点を挙げてよりよい発表を目指す。

・友達の発表を聞いて評価をすることができる。

(2)本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される生徒の反応	■評価・○留意点
導入(10 分) 1　学習課題の設定	T：「今日は発表の練習をします。発表の時にはどんなことに気を付けるといいでしょうか。」 学習課題 　発表のとき，どんなことに気をつければいいか。 S：「声の大きさ。」「姿勢よく話す。」「言葉遣いに気を付ける。	○自立活動の予定の確認や発表ではどんなことに気を付けるかを思い出させる。

	まとめ ・声の大きさ　・姿勢　　・身だしなみ　・言葉遣い	
展開(３５分) ２　１回目の発表と評価 ３　２回目の発表と評価	T：「発表をしてみて，お互いに改善した方がいいところやよいところを見つけてみましょう。」 〈発表し，評価をする。〉 S：「声が小さい。」「あまり体を動かさない方がいい。」「はっきり話した方がいい。」 T：「みんなの意見を踏まえて，さらによくなるように発表してみましょう。」 〈発表し，評価する。〉 T：「１回目の発表と比べてどうだったでしょうか。」 S：「よくなった。」「あまり変わらない。」	■学習課題を意識して発表することができたか。 ■友達の発表を聞いて，適切に評価することができたか。 〇評価のプリントを用意する。
終末(５分)	T：「当日，気を付けたいこと，頑張りたいことはなんですか。 S：「はっきり聞こえる声で話す。」「大きな声で話す。」	

(３)本時の評価

・適切な声の大きさやスピードで姿勢よく発表することができたか。(知識・技能)

・友達の発表を評価することができたか。(思考・判断・表現)

・みんなの意見を前向きに捉えることができたか。(主体的に学習に取り組む態度)